

# 白十字病院 だより

2026. Vol.15



白十字病院に遊びにきたミツバチ

## 巻頭特集

内視鏡センター ～見えない不安を、見える安心へ～

## TOPIC

白十字病院 看護部の今と昔

～変わる看護、変わらない想い～

スタッフのお気に入り・仕事

白十字会福岡地区 地域応援活動からのお知らせ

Instagramの  
フォローお願いします！



HAKUJYUJI.HP

詳しい病院情報ホームページはこちら

<https://www.fukuoka.hakujujikai.or.jp/>



# 地域医療を担う新診療科長のご紹介

このたび、新たな診療科長が着任いたしました。地域医療を担う一員として、患者さん一人ひとりに寄り添い、安心と信頼につながる医療の提供に尽力してまいります。

## 肝胆膵内科

Hepatobiliary and Pancreatic Medicine



高田 和英 TAKATA KAZUHIDE

2026年4月より、肝胆膵内科の診療体制を強化いたしました。これまで以上に地域医療に貢献できるよう励んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

専門医  
認定医

日本内科学会総合内科専門医  
日本消化器病学会専門医  
日本肝臓学会専門医

## 脳神経外科

Department of Neurosurgery



天本 宇昭 AMAMOTO TAKAAKI

脳卒中、脳腫瘍への開頭術・血管内治療を中心に研鑽を積んでまいりました。どんな疾患でもいつでも迅速に対応いたしますのでぜひご相談ください。

専門医  
認定医

日本脳神経外科学会専門医・指導医  
日本脳神経血管内治療学会脳血管内治療専門医  
日本脳卒中学会専門医・指導医  
日本神経内視鏡学会技術認定医  
医学博士

## 眼科

Ophthalmology



伊崎 亮介 IZAKI RYOSUKE

長崎県佐世保市にありまます佐世保共済病院より赴任してまいりました。まだ不慣れな部分も多いですが、どうぞよろしくお願いたします。

専門医  
認定医

日本眼科学会認定眼科専門医  
白内障、眼科一般

## 整形外科

Department of Orthopedics



矢野 竜大 YANO RYUTA

若輩者ではございますが、地域の患者さんのために貢献出来るよう努めて参ります。今後ともご指導、ご協力のほどよろしくお願いたします。

専門医  
認定医

日本整形科学会認定整形外科専門医

## 「腎不全医療のこれから」

(白十字病院 寄稿文)



白十字病院  
病院長補佐・腎臓内科部長

木村 廣志

2024年11月、堀川恵子氏による「透析を止めた日」が講談社から出版されるとマスコミでも話題となり、自民党の国会議員有志が「腎疾患を軸に医療の未来を拓く会」などの勉強会を立ち上げ、透析が困難になった患者への緩和ケア体制整備に向けた動きを活発化させました。作者の堀川さんは血液透析を受ける夫のために「緩和ケア」を求めながらも受け入れられなかった現実が描かれていま

す。現在、緩和ケア病棟の対象は主にがんや重症心不全などに限られ、透析患者さんは透析を継続しただけで入院することが難しい状況があります。一方で、透析を中止した場合、多くの患者さんは2週

間以内に亡くなるとされています。この問題は以前から透析医療の現場で議論されてきましたが、近年ようやく社会全体の関心が高まり、政治の場でも議論されるようになりました。

日本は末期腎不全患者数が世界的にも多い国です。食生活や民族的背景も影響するとされ、台湾・韓国に次いで高い水準にあります。台湾では2009年に末期腎不全患者への緩和治療が保険適用となりましたが、日本でも2026年になってようやく保険診療として認められました。透析医療は「生命をつなぐ治療」である一方、患者さんやご家族に大きな負担を伴います。だからこそ、「どう生き

るか」と同時に「どう最期を迎えるか」を考える医療が求められているのだと思います。

私が研修医1年目の時、(26年前)最初に看取った患者さんは末期腎不全の方でした。長年の関節リウマチによる腎アミロイドシスを患い、全身状態は極めて不良でした。当時の私は、透析を始めなければ命が尽きることしか理解できず、その先にある苦痛や透析をやめる時の喪失感など想像もできませんでした。ご家族の強い希望で血液透析が開始されましたが、私はその症例で「透析の始まり」と「透析の終わり」を同時に経験した私は、気付いたら腎臓内科医になっていました。

現状、透析中止に関する医療現場の課題はなお多く残されています。しかし、保存的腎臓療法や末期腎不全への緩和ケアについては、少しずつ道が開かれつつあります。当院の周囲には、西福岡病院、村上華林堂病院、井上病院、糸島医師会病院など、ホスピス機能を有する医療機関があります。こうした地域の病院と連携しながら、患者さん一人ひとりに寄り添った医療を届けていくことが、これからますます重要になると感

じています。

先日私の父が白十字病院へ入院し職員の皆さんに大変お世話になりました。実は自宅の近くの救急病院へ入院していたのですが、血圧が下がり主治医の先生から呼ばれた際に、迷わず白十字病院への転院を声掛けしました。10年程前に当院前病院長が職員に対し、「白十字病院を自分の家族を入院させた病院にしていこう」と呼びかけられていたことを思い出しました。

この10年間で白十字病院の進化の速度は素晴らしく、病院で働かれる方も気持ちよくなりました。『自分の家族を入院させたい病院』であるよう、これからも共に前に進んで参りたいと考えます。



新しい先生方を迎えた透析センター

# 安心は、チームで支えています

医師・看護師・臨床工学技士をはじめとしたスタッフが連携しながら、一人ひとりに寄り添った丁寧な診療を行っています。

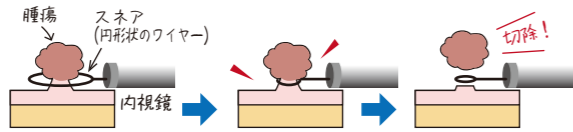
## 【内視鏡で行う主な治療方法】

内視鏡治療は、お腹を切らずに行うため、身体への負担が少ない治療方法です。病変の種類や大きさに応じて、適切な治療を選択しています。

### ポリペクトミー (Polypectomy) 内視鏡的ポリープ切除術

#### — 小さなポリープを安全・迅速に切除 —

大腸や胃にできたポリープに対して行う、最も基本的な内視鏡治療です。内視鏡の先端から「スネア」と呼ばれる輪状の器具を出し、ポリープの根元にかけて締め付け、電気を流して止血しながら切除します。茎のあるポリープに適しており、短時間で体への負担も少なく治療が可能です。

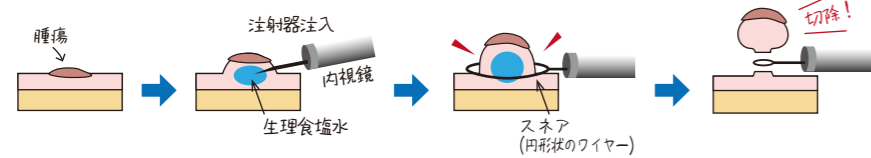


ESD 治療中

### EMR (Endoscopic mucosal resection) 内視鏡的粘膜切除術

#### — 大きなポリープと早期がんを内視鏡で切除する標準的治療 —

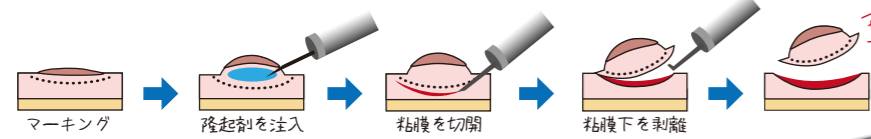
通常、平坦な病変に行います。病変の下に注射液を注入し、病変を隆起させながら周囲の正常粘膜を含めてスネアで絞扼し、高周波電流で止血しながら切除します。



### ESD (Endoscopic Submucosal Dissection) 内視鏡的粘膜下層剥離術

#### — 早期がんの標準的治療 —

病変の周囲を切開し、粘膜の下層(粘膜下層)を剥がしながら、病変を一括で切除する高度な内視鏡治療です。従来は外科手術が必要とされていた大きな病変にも対応可能です。広範囲に広がった早期胃がんや大腸がんなどに適しており、病変を一度に取り切ることで、再発リスクの低減や正確な病理診断につながります。専門的な技術を要しますが、患者さんの身体への負担を抑えた治療が可能です。



## 検査・治療にあっている疾患

- 上下部消化管悪性腫瘍 (食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、直腸)
- 上下部消化管良性腫瘍 (食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、直腸)
- 上下部消化管出血 (胃十二指腸潰瘍、憩室出血、虚血性腸炎など)
- 炎症性腸疾患 (潰瘍性大腸炎、クローン病など)
- 感染性腸炎 (細菌性、ウイルス性)
- ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌療法 (保険適応疾患に限る)
- 逆流性食道炎、急性・慢性胃炎、過敏性腸症候群、便秘など
- 消化管異物
- 胃ろう造設、交換



見えない不安を、見える安心へ

内視鏡検査で、からだの状態をしっかりと確認しませんか。早期発見・早期治療につながります。

内視鏡検査と聞くと、「つらいのではないか」「苦しいのではないかな」といった不安を感じる方も少なくありません。特に初めて検査を受ける方にとっては、検査の流れや内容が分からないことが、不安をより大きくしてしまうこともあります。しかし実際には、医療技術や機器の進歩により、以前と比べて身体への負担は大きく軽減されてきています。当センターでは、患者さん一人ひとりの不安に寄り添い、安心して検査を受けていただけるよう、さまざまな工夫を行っています。鎮静剤を使用することでリラックスした状態で検査を受けることができます。ほか、スタッフによる丁寧な説明や声かけを通して、緊張を和らげるような心がけています。また、プライバシーに配慮して個室で検査を行い、検査後もゆっくりと休んでいただける環境を整え、安全面にも十分配慮しています。胃や大腸の病気が、自覚症状がないまま進行することもあります。そのため、「少し気になる」「念のため確認したい」といった段階



で検査を受けることが、早期発見につながる大切な一歩となります。実際に、内視鏡検査によって早い段階で異常が見つかり、身体への負担が少ない治療へとつながるケースも多くあります。不安を抱えたまま過ごすよりも、一度しっかりと調べることが得られる安心は、これからの生活に大きな安心感をもたらします。私たちは、地域の皆さまが安心して日々を過ごせるよう、質の高い内視鏡医療の提供に努めています。どうぞお気軽にご相談ください。

### ★最新・最良の治療★

医療は日進月歩に発展しており、当センターでは癌、潰瘍性大腸炎、クローン病をはじめとした消化管疾患に最新の知見に基づいた最新・最良の治療を行っています。

### ★質の高い内視鏡検査★

内視鏡検査は、口や鼻、または肛門から細い管状の機器(内視鏡)を入れて、消化管(食道・胃・十二指腸・大腸など)の中を直接観察する検査です。最新の内視鏡機器を使用して、消化管の粘膜の異常や炎症、潰瘍、ポリープ、がんなどの病変を詳しく観察することができます。患者様の負担を最小限に抑えながら、精度の高い検査を実施しています。病変に応じて、その場で組織検査(生検)やポリープ切除なども行うことができます。

## 内視鏡センター

経験豊富な医師による検査・治療

鎮静剤を用いた苦痛の少ない検査

他診療科との連携による迅速な対応

### ●受診・予約について●

内視鏡検査・受診はいつでも事前予約が必要です。紹介状をご用意いただき、下記コールセンターまでご予約をお願いいたします。

フリーダイヤル 0120-19-8912

診療時間 月～金 9:00～12:00 13:00～17:00

患者さんに負担の少ない治療を心がけています

Doctor 医師 内視鏡センター長 井浦 登志実

Clinical Engineer 臨床工学技士

Nurs 看護師

患者さんが安心してできるように最善を尽くしています

わたしたちが「消化管内視鏡技師」です！

※内視鏡検査や治療の介助、専門機器の保守・管理、患者さんのケアなどを専門的におこなっています！

安全に検査・治療が行えるよう機器管理を行っています

# 昔

2003年頃

## 時代とともに変化する看護師のユニフォーム ～変わるかたち、変わらない想い～

看護服の起源は、中世ヨーロッパにまで遡るといわれています。病院がまだ十分に整備されていなかった時代、カトリック教会の修道女たちが病人やけが人の看護を担っており、その修道服が看護服の原型になったとされています。

近代看護は、19世紀後半にイギリスのフローレンス・ナイチンゲールによって確立されました。当時の看護師は、長袖で丈の長いワンピースに白いエプロン、そして帽子を着用しており、日本の看護服もその影響を受けながら発展してきました。



戦後は衛生意識の高まりとともに、清潔な白衣の着用が重視され、白いワンピースとナースキャップは「看護師の象徴」として広く定着しました。白衣に身を包み、患者さんに寄り添う看護師の姿は、多くの人に安心感を与えてきました。

**ナースキャップの豆知識**  
ナースキャップは、19世紀後半に看護を行っていたシスターのベールが由来とされています。かつて看護学生にとって「戴帽式」は、初めてナースキャップを身に付け、看護師としての自覚と責任を胸に刻む大切な儀式でした。現在は安全・衛生面から廃止が進みましたが、キャンドルを灯し誓いを立てる精神は、「ナーシングセレモニー」などへ形を変えて受け継がれています。



## 新しい看護師ユニフォームのご紹介 ～2026年春に新人看護師28名を迎えました～



現在の医療現場では、機能性と安全性を重視したスクラブタイプのユニフォームが主流となっています。スクラブはもともと手術着として使用されていましたが、軽量で動きやすく、男女問わず着用しやすいことから、医師や看護師をはじめ多くの医療職に広がりました。日本でも医療ドラ

マなどをきっかけに普及が進み、近年では病院ごとにさまざまなカラーやデザインが取り入れられるようになっていきます。現在のユニフォームには、動きやすい素材や収納力のあるポケットなど、忙しい医療現場を支える多くの工夫が施されています。また、感染対策の観点からも、清潔を保ちやすい素材やデザインが採用されており、安全で安心な医療環境づくりにつながっています。ユニフォームは単なる「服装」ではなく、働く職員の安心感や誇り、そして病院のイメージづくりにもつながる大切な要素となっています。

**新しい仲間たちと共に**  
この春、当院には28名の新人看護師が仲間入りしました。慣れない環境の中で戸惑いながらも、先輩看護師の支援を受け、一歩ずつ経験を積み重ねています。患者さん一人ひとりに真摯に向き合い、「その人らしさ」を大切に



した看護を学ぶ姿は、病院全体に新しい力と活力をもたらしています。ユニフォームの形は時代とともに変化してきました。しかし、患者さんを支えたいという看護師の想いは、今も昔も変わることはありません。これからも看護師一人ひとりが専門性を高めながら、温かさと思いやりを大切に看護を提供し、地域の皆さまに信頼される病院であり続けられるよう努めてまいります。

# 今

2026年



今も昔も変わらない笑顔です

## 変わる看護、変わらない想い

白十字病院 看護部の

# 今と昔

白衣とナースキャップの時代から、チーム医療を支える現在へ。時代とともに変化しながらも、患者さんに寄り添う想いを大切に受け継いできました。制服や働き方、医療環境は大きく変わりましたが、「安心を支える看護」という本質は今も変わりません。今回は、白十字病院の看護の「昔」と「今」をご紹介します。



**かつての看護の現場**  
医療の現場は、時代とともに大きく変化してきました。白十字病院の看護部もまた、その時代の医療や社会の変化とともに歩みを重ねながら、看護の形を少しずつ変えてきました。  
かつての看護師といえば、白衣にナースキャップという姿を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。ナースステーションには手書きのカルテが並び、限られた一冊のカルテを医師や看護師、多職種が共有しながら診療や看護を行っていました。病室で測定した体温や血圧などのデータも手書きで記録され、申し送りや情報共有は、看護師同士が顔を合わせながら丁寧に行われていました。医療機器や情報システムが今ほど整っていない時代だからこそ、患者さんの表情や声、わずかな体調の変化に気づく観察力や経験がとて大切にされていました。また、当時は現在ほど業務の分担や効率化が進んでおらず、看護師が多くの役割を担っていました。その一方で、患者さんやご家族と向き合う時間が長く、日々の会話や関わりの中で信頼関係を築いていく看護が実践されていました。  
**変化する看護のかたち**  
現在の医療現場では、医療技術の進歩や医療体制の変化に伴い、看護師の役割も大きく広がっています。電子カルテの導入や医療機器の進化により、医療の安全性や効率性が高まり、看護の現場も大きく変化しました。また、医師だけでなく、

1982年 (昭和57年)



### 1982年2月1日 石丸の地に開院しました

白十字会の4番目の施設として、病床数132床、4診療科でスタートし、地域の皆さまの健康を支える病院として歩みを始めました。

### 白十字病院 看護の歩み

- 1982年 白十字病院開院 看護師47名でスタート!
- 1990年代 ナースキャップ廃止の流れ
- 2008年 電子カルテ導入
- 現在 チーム医療・地域連携の看護へ



患者さんの薬をセットしています

く、薬剤師やリハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーなど、多くの専門職と連携しながら患者さんを支える「チーム医療」が当たり前となり、看護師はその中心的な役割を担っています。さらに近年では、入院中のケアだけでなく、退院後の生活や地域とのつながりを見据えた支援も重要になっていきます。患者さんやご家族の不安に耳を傾け、その人らしい生活を支える看護が求められています。  
このように看護の環境や役割は時代とともに変化してきましたが、患者さんに寄り添い、安心して医療を受けていただけるよう支えるという看護の想いは今も変わりません。白十字病院の看護部も、その想いを大切にしながら日々の看護に取り組んでいます。

スタッフのお気に入り

護摩行をご存じでしょうか

**護**摩行をご存じでしょうか！私は、子供の頃から護摩行と謎解きに興味がありました。

護摩行は、古代インドのパラモン教の宗教儀式で、紀元前13世紀頃、アーリア人による火の儀礼が起源のようです。火を用いて煩悩を焼き払い、願いを仏に届ける密教の修行儀式です。日本では、プロ野球選手がオフシーズンに精神鍛錬を目的に護摩行を行う選手がいるのを聞いたことがあります。私は、子供の頃から無口で人見知りか酷く、心がシャボン玉の様に

弱い性格でした。ある時、常日頃から師匠と慕っている台場さんと護摩行をする機会があり、約7年前より厳冬の時期に山奥に籠り、心身を鍛えるため、本格的に護摩行をすることにしました。火に護摩木(小さな薪)を投げ、手で印を組みながら“阿耨多羅三藐三菩提”と唱え、神饌と神酒を賜りながら、ひたすら護摩行を行います。座禅を組みながら行うため、徐々に力を使い果たすとやがて全身が化石の様に硬くなり、その後5時間は気絶した様に眠り続けます。ほぼ無防備な状況となるため、獣や悪人が来ないか不安になりますが、結果として、寒さに強くなり、コロナ、インフルにも罹患することなく、医療費削減にも寄与しています。この度、師匠の台場さんから“ヤマト タケン”の修行名を頂きました。火の力を通して心を整え、前向きな考え方が出来るようにこれからも精進していきます。ところで皆さん、今回の謎は解けたでしょうか？

護摩行



いいね!

- # 護摩行とは
- # 護摩行との出会い
- # 心身を鍛えるため
- # ヤマト タケンという修行名をいただく
- # 着々と仲間が増えています



**林 修司**  
SHUJI HAYASHI  
病院長補佐  
■出身地: 日本国  
■趣味: 家庭サービス



スタッフの仕事

患者支援センター ~たくさんの経験を経て~

**私**は白十字病院の看護師として働いて35年になります。

白十字会が福岡で開院したのが今から44年前の1982年2月1日になります。私はその開院準備時期である1981年12月に入職しました。その頃は佐世保中央病院からも応援に来て頂き、新しい事にチャレンジできる環境が楽しかった事や、エネルギーに頑張った事を覚えています。開院した年の7月に義父の病気を理由に一度退職をし、専業主婦として10年頑張りました。専業主婦の間は

義理の両親との生活や子育てに奮闘してましたが、義母の退職を機に35歳で白十字病院に再就職し今に至ります。再就職後は、10年のブランクを埋める為に日々奮闘し、大変ではありましたが、若さで乗り切ってきました。

60歳の定年を前に、現在の患者支援センターの前進である入院支援課の立ち上げに携わるとい命を受けました。この年でも看護師として患者さんに関われる役割を頂けた事に嬉しく思いました。今も日々多忙ではありますが、患者さんの相談にのれる事や、話ができる事を楽しみに業務に従事しています。患者支援センターでの勤務は私にとって張り合いとなっており、身体機能の維持、認知症予防にも役立っているのではないかと考えています。健康が続く限り、周りのスタッフに迷惑をかけないようこれからも頑張っていきたいと思っています。

看護師(患者支援センター)



いいね!

- # 白十字病院に35年勤めて
- # 白十字病院の開院準備時期に入職
- # 患者支援センターでの仕事
- # 看護師として私ができること
- # 健康が続く限り



**鳥飼 真喜子**  
MAKIKO TORIKAI  
看護師(患者支援センター)  
■出身地:  
福岡県鞍手郡小竹町  
■趣味:  
旅行(若い頃は登山)



「いしまるしえ」へようこそ

地域交流サロン

白十字病院の敷地内にある“いしまるしえ”は、地域のサロン活動の場や憩いの場、学習の場としてみなさんに親しまれています。今年度も、多くの地域の方々にお越しいただき、笑顔があふれる温かい場でありますように…

健康講座

医師や看護師、専門スタッフが健康づくりや病気の予防など役立つ情報をわかりやすくお伝えします。

2026年度  
予定講座

- 検査結果の見方
- 心臓弁膜症センター
- 外科(ダヴィンチ)の紹介
- 歯科フレイル
- 減塩の仕方
- 脳卒中センター など



つながるカフェ

オープンして3年目を迎えた認知症カフェ。認知症ではない方でも気軽にご参加いただけます。

2026年度日程

24日 10:00~12:00 (済)	18日 10:00~12:00 (済)	6月 26日 10:00~12:00	7月 25日 10:00~12:00	8月 26日 11:00~13:00	9月 30日 11:00~13:00
10月 20日 10:00~12:00	11月 13日 10:00~12:00	12月 24日 10:00~12:00	1月 25日 10:00~12:00	2月 14日 10:00~12:00	3月 25日 10:00~12:00

本人ミーティング

認知症のあるご本人同士や家族が集まり、日頃感じていることや思いを自由に語り合う交流の場です。同じ立場だからこそ分かり合えることや、新しい気づき、仲間との出会いもあります。



事前予約制

2026年度日程 … 専門の看護師やケアマネジャー等の専門職と一緒に参加します

20日 10:00~15:30 (済)	15日 10:00~15:30 (済)	6月 20日 10:00~11:30	7月 22日 14:00~15:30	8月 24日 14:00~15:30	9月 17日 14:00~15:30
10月 16日 14:00~15:30	11月 28日 10:00~11:30	12月 25日 14:00~15:30	1月 19日 14:00~15:30	2月 18日 14:00~15:30	3月 7日 10:00~11:30



白十字会地域交流サロン  
いしまるしえ

●お申込み・お問合せ●

TEL:070-7664-3292

担当: 平井(平日: 9時~17時まで)



いしまるしえ公式アカウント  
LINE@  
友だち募集中!!

IGISHI MARCHÉ  
Instagramのフォローもお願いします!

# 外来担当医表

2026年6月1日時点

■受診受付時間/8:45~11:30(月~金曜日)

予約 / 予約の変更 / 予約の確認 (月曜~金曜/8:30~17:00)

※時間帯予約制となっております。  
事前に**予約受付コールセンター**で予約をお願いします。

いく はくじゅうじ  
**0120-19-8912** (フリーダイヤル)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	午前・午後		武岡 宏明(福大)			牛島 正人(福大) (第1・3・5週) 吉田 美奈(福大) (第2・4週)
内科	午前初診	大崎 優亮 (呼吸器内科)	安心院 勇佑 (心臓血管内科)	矢次 博 (呼吸器内科)	林 佐保 (腎臓内科)	工藤 優宇輔 (心臓血管内科)
糖尿病内科	午前初診	岩瀬 正典	北村 環	二宮 和輝	西崎 愛佳	井手 均
	午前再診	岩瀬 正典/ 井手 均/ 北村 環	岩瀬 正典/ 北村 環/ 高木 可南子	二宮 和輝/ 西崎 愛佳/ 北村 環	井手 均/ 西崎 愛佳/ 高木 可南子	岩瀬 正典/ 井手 均/ 北村 環
脳・血管内科	午前	徳永 敬介	熊井 康敬	東 英司	中西 泰之	高木 勇人
	午後		清原 卓也(九大)	熊井 康敬※再診のみ	由比 智弘(第2・4週)	
心臓血管内科	午前	藤沼 絵里奈 (睡眠時無呼吸外来兼務)	安心院 勇佑 (睡眠時無呼吸外来兼務)	永井 海渡 (睡眠時無呼吸外来兼務)	三戸 隆裕 (睡眠時無呼吸外来兼務)	工藤 優宇輔 (睡眠時無呼吸外来兼務)
	午後再診	ペースメーカー外来				
消化管内科	午前	岡村 活揮/ 三浦 玲	工藤 哲司/ 三浦 玲	井浦 登志実/ 岡村 活揮	井浦 登志実/ 北村 滉基	工藤 哲司/ 北村 滉基
肝臓・胆のう・膵臓 内科	午前	高田 和英	福永 篤志	高田 和英※再診のみ	福永 篤志※再診のみ	
	午後	松元 慶亮(胆・膵外来)		向坂 彰太郎※再診のみ		
腎臓内科	午前	酒匂 哲平	木村 廣志	酒匂 哲平	林 佐保	東 和樹
	午後		腹膜透析(PD)外来 腎療法選択外来 腎検診専門外来		平野 直史※再診のみ 腹膜透析(PD)外来 腎療法選択外来	
呼吸器内科	午前	大崎 優亮		矢次 博		松本 武格
	午後					
内分泌内科	午前	高江洲 理人(福大)				
	午後					萬代 幸子(九大)
脳神経内科	午後	川添 美紀(福大) (馬場医師不在週)			馬場 康彦(福大) (第1・3・5週)	
血液内科	午前・午後再診		河津 大地(福大)			中島 勇太(福大)
もの忘れ外来	午後				入江 克実 (13:00~15:00)	
精神科 ※入院患者	午前	平河 則明(九大) 平野 羊嗣(宮崎大)第4週		平河 則明(九大)		比嘉 逸人(九大)
	午後	平野 羊嗣(宮崎大)第4週				
外科	午前	谷 博樹/ 星野 滉大	浅生 義人/ 中村 勇太郎	浅生 義人/ 増原 紗希	谷 博樹/ 中村 勇太郎	籠田 進之介/ 増原 紗希
	※浏野:第1・3木曜日午後(13:00~15:00)再診のみ					
脳神経外科	午前	林 修司/ 柴山 理菜	井上 亨	天本 宇昭/ 田尻 崇人 (脊椎末梢神経外来)	平尾 宜子	田尻 崇人 (脊椎末梢神経外来)
	午後	入江 由希乃/ 森口 真哉				田尻 崇人 (脊椎末梢神経外来)
脳血管内治療外科	午後初診					福田 健治(琉球大) (第2・4週)
心臓血管外科	午前		住 瑞木/ 寺谷 裕充		住 瑞木/ 山崎 翔太郎	助弘 雄太(福大) ※再診のみ
	午後		尼子 真生		尼子 真生	助弘 雄太(福大) ※再診のみ
乳腺外科	午前	松尾 文恵	松尾 文恵	田中 益美(福大)	松尾 文恵	松尾 文恵
	午後					
整形外科	午前	立花 悠/ 古賀 裕知	矢野 竜大/ 伊崎 輝昌 (福大筑紫・肩関節外来)	立花 悠/ 佐伯 祐太郎(福大)	古賀 裕知/ 沖本 勝信	矢野 竜大/ 大井 美怜
形成外科	午前	眞鍋 剛	大塚 駿太	眞鍋 剛	大塚 駿太	大塚 駿太
泌尿器科	午前	阿部 裕典/ 篠原 知樹	中谷 和貴/ 宮原 拓也	阿部 裕典/ 横山 理子	篠原 知樹/ 宮原 拓也	阿部 裕典/ 中谷 和貴
	午後再診	久志本 俊郎	羽賀 宣博(福大)	久志本 俊郎	久志本 俊郎	
眼科	午前	伊崎 亮介 ※再診のみ:10時まで/ 藤原 恵理子	伊崎 亮介	伊崎 亮介/ 藤原 恵理子	伊崎 亮介	平山 雅敏(福大)/ 伊崎 亮介
歯科口腔外科	午前・午後	嶋村 知記/ 青柳 直子	嶋村 知記/ 青柳 直子/ 近藤 誠二(福大)	嶋村 知記/ 青柳 直子	嶋村 知記/ 青柳 直子/ 一木 志保(福大)	嶋村 知記/青柳 直子/ 眞野 亮介(福大)/ 豊福 明(東京科学大学) ※第2週のみ
皮膚科 ※入院患者	午後					清水 裕毅(福大)
肺がん外来	午後		中島 裕康(福大) ※第2・4週のみ			